

「第三次江東区こども読書活動推進計画」について

1 こども読書活動推進計画とは

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月12日 法律第154号)に基づき、都道府県及び市区町村が地域の実情を踏まえ、読書活動推進に関する施策を定めた計画。

基本理念

すべての子どもがあらゆる機会・場所で自主的に読書活動ができるよう、環境整備を推進

※本法における「こども」とは、概ね18歳以下の者を対象とし、計画においても同様の取り扱い【江東区におけるこれまでの計画】

平成23年3月:第一次江東区こども読書活動推進計画策定

平成28年3月:第二次江東区こども読書活動推進計画策定

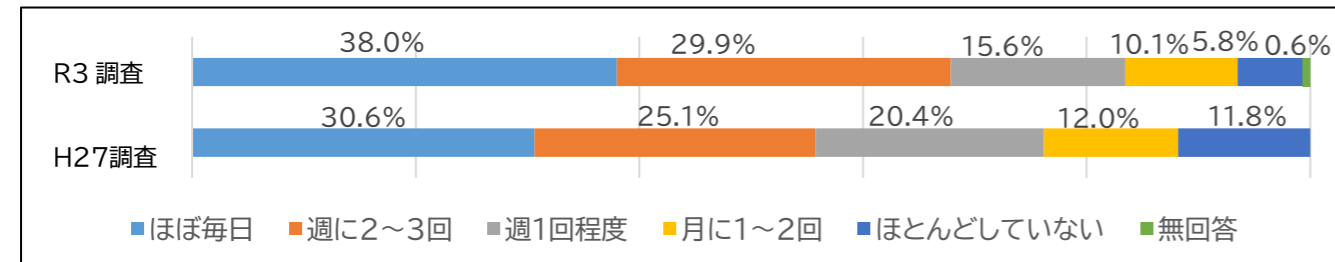
2 これまでの成果・課題

○第二次江東区こども読書活動推進計画における取組

幼稚園 保育園	学校	図書館	子育て支援 施設等
・保護者への本の貸出 ・読み聞かせの実施	・小中義務教育学校に 学校司書配置 ・一斉読書の実施	・開館日の増 ・ブックリストの作成	・読み聞かせの実施 ・寄贈本受入・再活用

○計画期間における成果

・家庭における乳幼児への読み聞かせをする頻度



※ 出典:こどもの読書についてのアンケート

・1か月の間に1冊以上、教科書以外の本(マンガ・雑誌を除く)を読んだこどもの割合

	小学2年生	小学5年生	中学2年生	高校2年生
江東区(令和3年)※1	91.6%	82.1%	76.3%	43.5%
東京都(平成31年)※2	89.4%	79.7%	55.5%	41.3%

※1 出典:こどもの読書についてのアンケート ※2 出典:東京都教育委員会『令和元年度「児童・生徒の読書活動状況」等に関する調査』

○第三次計画策定に向けた課題

- ・施設間の連携による、発達段階に応じた支援の実施
- ・社会状況の変化を踏まえた、こどもたちの読書への動機づけ、継続的な読書活動形成
- ・障害の有無や多言語等、こどもたちの多様化を踏まえた、誰もが読書に親しめる環境の整備

3 第三次計画の基本的な考え方

○全体目標

こどもたちが本に親しみ、豊かな未来を生きる力を身に付ける

○各対象における本との関わり

【乳幼児】 本に親しみ、想像力や心の豊かさを育む

- ・こどもがいつでも、どこでも本との触れ合いを楽しむことができる多様な読書機会の確保
- ・保護者をはじめ、こどもの身近にいる大人たちへの読書活動の啓発を推進

【小中学生】 幅広い読書に取り組み、考える力を養う

- ・多様な表現や考えに触れることができるよう、幅広い分野の本に出会える機会の整備
- ・継続して読書に取り組むための読書意欲の向上につながる支援

【高校生等】 積極的な読書を通して、社会での対応力を身に付ける

- ・自分の考えを深める本との出会いを推進
- ・こどもの読書活動推進の担い手として、社会と関わる機会の提供

○取り組みの基本方針

1 一人一人に寄り添った、読書の質を高める支援

- ・誰もが読書に親しめる環境を整備
- ・多様なこどもたちを意識した本の紹介
- ・読書に関する相談やレファレンスによる個別具体的な支援

2 読書意欲を高める環境の整備

- ・読書を楽しいものとして興味を持ち、自主的に本を読むといった行動につながる取組の実施
- ・短い時間でも読書ができる仕組みづくり
- ・様々な施設で気軽に読書ができる環境の整備

3 読書活動推進体制の充実

- ・ボランティア、学校司書の活用による取組の充実
- ・図書館資料の融通や家庭で不要となった本の再利用
- ・施設間での交流を通じた相互支援や職員の能力向上の推進

○計画の期間

令和4年度～令和7年度

○対象となるこどもの年齢

0歳から概ね18歳まで

4 各対象の計画概要と主な取り組み

	【乳幼児】 本に親しみ、想像力や心の豊かさを育む	【小中学生】 幅広い読書に取り組み、考える力を養う	【高校生等】 積極的な読書を通して、社会での対応力を身につける
【方針1】 一人一人に寄り添った、読書の質を高める支援	保護者に働きかけ、家庭での本との触れ合いを支援 【主な取組例】 保護者向け読み聞かせ講座の実施	一人一人が目的に応じた本と出会えるよう支援 【主な取組例】 レファレンス・読書相談の実施	課題解決につながる読書情報の積極的な発信 【主な取組例】 HP、SNS、広報誌で本を紹介
【方針2】 読書意欲を高める環境の整備	様々な本に触れ、本に対する興味を喚起する 【主な取組例】 各施設での読み聞かせの実施	読書に関心を抱き、継続的に読書につなげる仕組みの構築 【主な取組例】 校内一斉読書の推進	限られた時間を読書活動につなげる取り組みの実施 【主な取組例】 電子図書館の検討
【方針3】 読書活動推進体制の充実	各施設で読み聞かせ等が実施できる体制を構築 【主な取組例】 読み聞かせボランティアの養成	多様な人材の活躍による、児童生徒の読書環境整備 【主な取組例】 校内研修・研究会の実施	読書活動推進の担い手として、社会や本と関わる機会を創出 【主な取組例】 青年ボランティアの募集・活用

5 成果指標

主要指標・・・計画の全期間を通じての達成度を確認する指標。令和7年度に調査を実施して確認。

対象別指標・・・各年度の進捗を確認する指標。毎年度評価を実施。

※各施策(計画本文第4章)の取組結果についても、毎年度評価を実施し、改善を図る。

【主要指標】

1か月に1冊以上の本を読んだこどもの割合の向上

	小学2年生	小学5年生	中学2年生	高校2年生
令和3年度	91.6%	82.1%	76.3%	43.5%
令和7年度	95%	90%	85%	55%

【対象別指標】

対象	指標の内容	令和元年度	令和7年度
乳幼児	①区立図書館登録者数 (年度内に1冊以上貸出があった人数)	5,753人	6,500人
	②おはなし会の実施回数 (図書館おはなし会、出張おはなし会等)	1,498回	1,750回
小中学生	①区立図書館登録者数	14,181人	15,500人
	②本を読むのが「とても好き」、「好き」な児童・生徒の割合(学びスタンダード定着度調査より) ※上段小学生、下段中学生 ※数値は各学年の結果を合算・平均したもの	82.7%	85.0%
高校生等	①区立図書館登録者数	2,021人	2,600人